



ハチドリ通心(信)
2010年2月号

発行者 楽しい株式会社
住所 北九州市若松区向洋町10番1
北九州エコタウン実証研究エリア内
Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

今回は農林水産省のバイオマス利活用に係る、「バイオマスタウン構想」の公表を準備されている自治体をご紹介します。

山梨県北杜市

山梨県でもっとも広い自治体。長野県との県境にある、人口5万人の街です。北は八ヶ岳連峰、北東は瑞牆山(みずがきやま)や金峰山が代表する秩父山地、東は茅ヶ岳、南西は甲斐駒ヶ岳から連なる南アルプスと、周囲を「百名山」の山々に囲まれています。



豊富な水資源があり、「名水百選」に3箇所も選ばれています。ひとつは「八ヶ岳南麓高原湧水群」で、大滝湧水や三分一湧水、女取湧水など、確認されただけでも標高1,000メートル付近に、28ヶ所以上が点在、さらに南アルプスの「白州・尾白川」、秩父山地に連なる「金峰山・瑞牆山源流」など、古来から地域の人々が大切にされてきた自然が育んだ財産です。

水の美味しい処はお米も美味しいといわれていますが、当地のお米は日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて4年連続特Aに輝いています。また芸術文化分野では名誉市民であった故平山郁夫画伯の小学生写生教室が開かれるなど、一流の文化に子供達が直接触れて知ることも大切にされています。

「日本の百選」は山や水以外にも、「日本の道百選」に旧甲州街道・台ヶ原宿、「新日本名木百選」には山高神代桜が選ばれ、昨年は「新エネ百選」に北杜サイトメガソーラーや、市立小中学校の「太陽光発電設備」などが選ばれるなど、恵まれた自然を、次世代に残す取り組みも始まっています。

「萌木の村」北杜市・清里」がハチドリ仲間

北杜市の八ヶ岳・清里にある「萌木の村」は、レストランやホテル以外にも、さまざまなクラフトショップや体験工房など、子供からお年寄りまで一緒に楽しめる安らぎの村です。



(上は萌木の村の200型)

滋賀県多賀町



琵琶湖の湖東地区にある多賀町は「おたがさん」の愛称で親しまれている多賀神社の門前町として発展した人口8千人余の歴史ある町です。1,000m級の鈴鹿山系や、芹川・犬上川の清流等々自然に恵まれた環境で、杉・檜・松等豊富にあり、穀類や野菜や果実の栽培も盛んな、自然と共生する街です。高取山ふれあい公園には、町内のキンビール滋賀工場が年間15,000本の植林活動を行うなど、若い世代が安心して子育てが出来、高齢者が住みやすいまちづくりを実践されています。

琵琶湖の湖東地区にある多賀町は「おたがさん」の愛称で親しまれている多賀神社の門前町として発展した人口8千人余の歴史ある町です。

1,000m級の鈴鹿山系や、芹川・犬上川の清流等々自然に恵まれた環境で、杉・檜・松等豊富にあり、穀類や野菜や果実の栽培も盛んな、自然と共生する街です。



小学生向けの環境学習では山に入り、木々とふれあい星空を観察し、実際に米作りなどの農作業を体験します。町の中心にある多賀小学校では、一昨年9月から給食の生ごみのリサイクルを実証試験中です。(左下の写真は50型設置の多賀小学校)

京都府宮津市

日本三景のひとつ「天橋立」がある宮津市は良港に恵まれ、日本海交易ルートの一環になうと共に、丹後地方の政治や経済・文化の中心的都市として栄えてきた、人口2万1千人の街です。



お伊勢さまのふるさと丹後国一の宮「元伊勢 籠神社」(もといせこのじんじや)、西国28番札所である真言宗の古刹「成相寺」(なりあいにじ)、日本三大文殊のひとつで通称切戸の文殊堂で知られている「智恩寺」などの文化遺産も多く、年間260万人が訪れる観光都市です。世界遺産登録を目指して文化庁に「天橋立ー日本の文化景観の原点」を提案中です。

「天橋立 宮津ロイヤルホテル」がハチドリ仲間



天橋立を一望できるロケーションにあり、温泉も季節の料理も満喫。

宮津の湯らゆら温泉(大浴場・露天風呂)は、癒しの湯です。

昨年12月から50型をご使用です。

(左は宮津の湯らゆら温泉イメージ図)

和歌山県高野町

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の画である「高野山」は、

およそ1200年前に弘法大師によって開かれた真言密教の修行道場であり、真言密教の総本山であります。高野山を中心とする高野町は海拔200m~1100m級の峰が連なり、総面積の90%以上が山林、年間平均気温10.4℃、年間降水量約2,000mm大小合わせて19の地区が点在する、人口4千人の宗教環境都市。



ミシュランも「浮世と全く違う時間が流れている・・」と評価しました。昨夏の焼却設備休止を機に2ヶ所の住宅地に生ごみ処理機を設置し、住民や宿坊の生ごみを自ら分別、堆肥にリサイクルする実証 実験をスタート、名物ごまとうふの製造事業者3社の皆さんも其々で実証実験に参加されるなど、町を挙げて「持続可能な社会」を目指しバイオ



マス利活用実証試験を継続、バイオマスタウン構想公表後の事業化計画の策定及び、実行の準備を着々と始められています。

先の山梨県北杜市、滋賀県多賀町、京都府宮津市も、高野町と同様に産・官・学・民が協力し、未来の子供たちに美しい地球環境を残す取り組みをすでに始められています。

楽しい(株)と(株)メリーズ・ジャパン、バイオマスタウンアドバイザー事務所「ハチドリ」は、皆様のお役に少しでもたてるように、力を合わせ更に努力し、研究を進めたいと考えます。

主要参考文献

山梨県北杜市ホームページ、滋賀県多賀町ホームページ、京都府宮津市ホームページ、和歌山県高野町ホームページ、天橋立宮津ロイヤルホテルホームページ他

*ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページをご覧ください。

URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(高原が担当しました。)

